

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成23年10月20日(2011.10.20)

【公表番号】特表2010-504738(P2010-504738A)

【公表日】平成22年2月18日(2010.2.18)

【年通号数】公開・登録公報2010-007

【出願番号】特願2009-529350(P2009-529350)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成22年8月27日(2010.8.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

細胞から核酸を分離及び/又は精製する方法であって、

- a) 前記細胞を溶解液で溶解して核酸含有水溶液を生成する段階、
 - b) 陰イオン交換体が核酸を結合するような条件下で、前記核酸含有水溶液を固体支持マトリックスに結合された陰イオン交換体に接触させる段階、
 - c) 核酸溶離液からなる水性移動相を用いて前記陰イオン交換体から核酸を溶離する段階、及び
 - d) 下流用途に適するように前記溶離核酸を脱塩する段階
- を含んでなる方法において、

炭酸カリウムを含む組成物を前記溶離液中に添加することを含み、溶離液中における前記組成物の存在が前記組成物の不存在下での前記核酸の回収率に比べて陰イオン交換体からの核酸回収率の増加をもたらすことを改良点とする方法。

【請求項2】

前記組成物が炭酸カリウムである、請求項1記載の方法。

【請求項3】

前記炭酸カリウムが約0.1~2Mの濃度で存在する、請求項1記載の方法。

【請求項4】

前記核酸がゲノムDNAである、請求項1記載の方法。

【請求項5】

前記陰イオン交換体がANX Fast Flow樹脂である、請求項1記載の方法。

【請求項6】

前記陰イオン交換体がDEAE Sephadex A25樹脂、Q Sepharose Fast Flow樹脂、Q Sepharose XL及びCaptorQ樹脂からなる群から選択される、請求項1記載の方法。

【請求項7】

細胞から核酸を分離及び/又は精製するためのキットであって、

- a) 前記細胞から核酸含有水溶液を生成するための溶解液、
- b) 核酸を結合するための、固体支持マトリックスに結合された陰イオン交換体、
- c) 前記陰イオン交換体から核酸を溶離するための溶離液であって、炭酸カリウムを含む

溶離液、及び

d) 前記溶離核酸を脱塩するための脱塩手段
を含んでなるキット。

【請求項 8】

前記組成物が炭酸カリウムである、請求項 7 記載のキット。

【請求項 9】

前記陰イオン交換体が高流速樹脂である、請求項 7 記載のキット。

【請求項 10】

前記陰イオン交換体が DEAE Sephadex A25 樹脂、Q Sepharose Fast Flow 樹脂、Q Sepharose XL 及び C apto Q 樹脂からなる群から選択される、請求項 7 記載のキット。